



▲昨年のアドベンチャーキャンプ（淡路青年の家）

# 生涯学習だより



## 子どもが 育ちあう環境を

野山にかわいい若葉が芽吹いてきています。新年度もひと月が過ぎ、心も体も開放的になる季節がやってきました。子どもたちも進学や進級という環境の変化にも少し慣れ、新しい友達もできた頃ではないでしょうか？

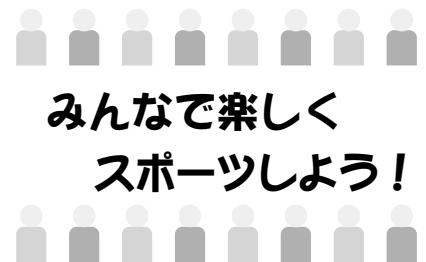
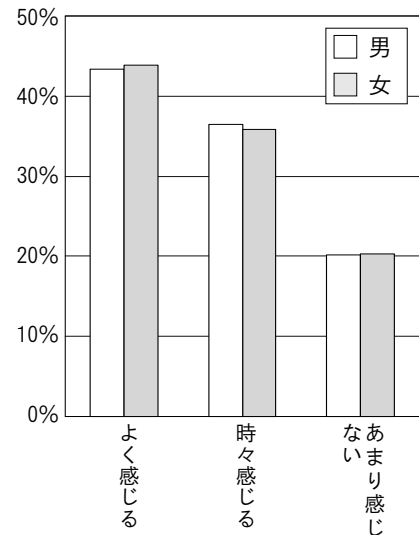
さて、皆さんの身近にいる子どもたちは、どのように余暇を過ごしていますか？近年は、少子化で子どもが少な

い上、習い事などにより忙しい子どもが増えたことや、ビデオやパソコン、ゲーム機の普及で、子どもが地域で群れて遊ぶことが極端に減ってきているようです。また、家族の有り様も変化する、子どもの育ちに大きく影響しています。

子どもは、人同士のかかわりから、「コミュニケーション力」をつけ、「生きる力」を養っていきます。異年齢での交流活動をすることで、思いやりの心や我慢すること、人の役に立つことの喜びなどいろいろなことを学びます。また、こうした経験から、自分のことも他人のことも大切に思えるようになってきます。町では、子育て支援事業「親子プレイステーション」や、少年少女合唱団の文化振興事業、子ども会「アドベンチャーキャンプ」などの活動支援で、人同士のふれあいの機会づくりに取り組んでいるところです。

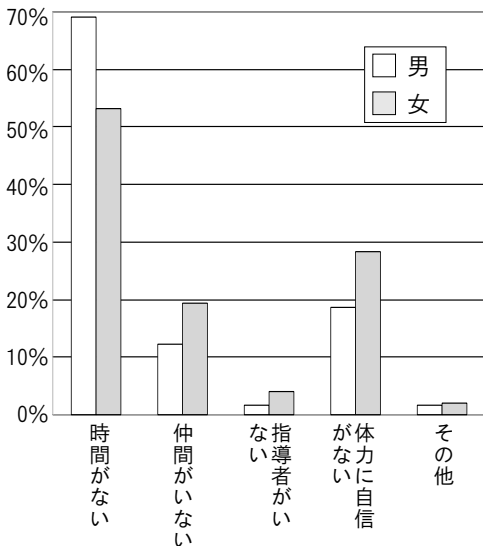
日野町の未来を担う子どもたちに向けて、周りの大人が様々な角度から子どもたちにかかわることで、たくましく健やかな子どもを育てていきましょう。

図1 運動不足を感じていますか？



このコーナーでは、「総合型地域スポーツクラブ」のことや、平成17年に行いました「スポーツ意識調査」の結果などをシリーズで紹介していきます。

図2 運動をしない理由は？



運動不足を解消して、いつまでも健康に！

**新** 緑の季節を迎え、外に出て運動するにはよい時期になりました。昨

年行いましたスポーツ意識調査では運動不足を「よく感じる」「時々感じる」人を合わせると男女共に8割もの人が運動不足を感じておられる結果が出ました。(図1参照)

**運** 動をしない理由は、6割を超える人が「時間がない」次いで「体力に自信がない」、そして「仲間がいない」という理由が多く、現代の忙しい世相と人とのつながりの希薄さを反映したものとなっています。(図2参照)

**そ** こで、「いつでも」「誰でも」「いつまでも」気軽にスポーツをできる環境づくりとして、「総合型地域スポーツクラブ」が注目されています。このクラブは、子どもから高齢者まで、それぞれの年齢や体力に応じた運動が継続的にできることをめざすものです。